

## 吉中 季子 (大学院保健福祉学研究科兼務)

### 1. 著書

- 1) 共著, 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編, 2024年05月, 日本語, 社会福祉士国家試験過去問解説集2025, 「低所得者に対する支援と生活保護制度」, 中央法規出版, 88-89
- 2) 共著, 社会福祉法人全国社会福祉協議会編 (宮本太郎・西村淳編) (武川省吾・宮本太郎・小野太一・宇野裕・堀田一吉・川久保寛・西村淳・北岡大輔・吉中季子・寺田誠), 2025年03月, 日本語, 社会福祉学習双書 第6巻 社会保障, 第10章「社会福祉制度の概要」, 社会福祉法人全国社会福祉協議会, 270-303
- 3) 共著, 西村淳編著 (西村淳・吉中季子・川久保寛・玉垣淳 共著), 2024年11月, 日本語, 新体系看護学全書) 健康支援と社会保障制度③『社会福祉』, 第1章 生活と社会福祉, メヂカルフレンド社, 1-28

### 2. 学術論文

- 1) 原著論文, 筆頭著者, 吉中季子, 2025年03月, 日本語, 「女性の貧困と年金」に関する構造的分析—シングルマザー／寡婦の公的年金制度への対応を中心に— (博士論文), 査読あり, (大阪公立大学現代システム科学研究科現代システム科学専攻社会福祉学分野) 論文博士 (社会福祉学)

### 5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本社会福祉学会, 査読委員, 2023. 1. 1～
- 2) 社会政策学会, 学会誌編集委員, 2024. 5. 1～
- 3) 社会政策学会, ジェンダー部会運営委員, 2022. 4. 1～
- 4) 社会政策学会, 社会的排除／包摂部会運営委委員, 2023. 5. 1～
- 5) 貧困研究会 (学会 日本学術振興会協力団体), 運営委員, 2017. 4. 1～
- 6) 貧困研究会 (学会 日本学術振興会協力団体), 選挙管理委員会委員長, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 7) 貧困研究会 (学会 日本学術振興会協力団体), 広報委員, 2023. 4. 1～2025. 3. 31
- 8) 貧困研究会 (学会 日本学術振興会協力団体), 事務局委員, 2017. 4. 1～
- 9) 厚生労働省 社会・援護局, 令和7年度「困難な問題を抱える女性の支援に関するプラットフォーム構築事業」評価検討委員, 2025. 2. 1～2025. 3. 31
- 10) 厚生労働省 社会・援護局, 「女性相談支援員向け研修の教材作成及び実施方法に関する調査研究事業」研修委員 (2025年3月31日迄), 2024. 10. 1～2025. 3. 32
- 11) 三浦市, 男女共同参画懇談会 座長, 2019. 1～
- 12) 鎌倉市, 国民健康保険運営協議会委員, 2022. 10～

- 13) 葉山町, 民生委員推薦会委員, 2016. 11～
- 14) 公益社団法人 神奈川ゆめ社会福祉財団, 評議員, 2023. 11～
- 15) 社会福祉法人 神奈川県民生福祉協会 神奈川県女性自立支援施設 (旧さつき寮), 評議員, 2023. 5～

## 6. 社会貢献

- 1) 特定非営利活動法人 女性サポートAsyl(あじーる) (生活困窮者一時支援事業)  
理事長, 2015. 5～
- 2) 特定非営利活動法人 ひまわり (ひとり親・子ども・若者支援) (神奈川県横須賀市)  
副理事長, 2022. 12～
- 3) 神奈川県 令和6年度生活保護業務担当職員スキルアップ研修事業 研修講師, 2024. 10. 30  
, テーマ: 生活保護の実施について 於: 横浜市福祉保健研修交流センター
- 4) 逗子市 令和7年度地域福祉推進事業 啓発講座 基調講演, 2025. 3. 16, 主催: 逗子市・逗子市社会福祉協議会  
テーマ: 子どもに広がる見えない貧困 基調講演 於: 逗子市市民交流センター
- 5) 神奈川県かながわ子どものみらい応援団 (神奈川県福祉子どもみらい局 子どもみらい部次世代育成課主催), 2022. 1. 31～, 神奈川県かながわ子どものみらい応援団 (神奈川県福祉子どもみらい局 子どもみらい部次世代育成課主催) 【子どもにひろがる見えない貧困 (神奈川県ホームページ)】  
[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sy8/cnt/f536929/kodomoshienwebkouza\\_yoshinaka.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sy8/cnt/f536929/kodomoshienwebkouza_yoshinaka.html)

## 7. 講演, 放送

- 1) 週刊『女性自身』(光文社) 「現在50歳の25年後独り暮らし悲惨予想図」 pp. 114-117. (6月4日号 (2024年5月21日発行) 第67号第18号、コメント掲載。), 2024. 5. 21, コメント掲載
- 2) 北海道新聞「女性の低年金 税負担で「最低保障」導入」, 2024. 10. 20, コメント掲載
- 3) 神奈川新聞「#ジェンダー×国際女性デー 困難女性支援法1年一県独自、通所型で切れ目なく 民間と協働」1面, 2025. 3. 7, コメント掲載
- 4) 神奈川新聞「DV認定ハードル高く 国連委研修の必要性指摘 「裁判官の能力強化を」」2面, 2025. 3. 7, コメント掲載

## 9. 学内教育活動

### 1) 学部

学部授業, 2024, 公的扶助論、社会福祉の原理と政策、ソーシャルワーク実習指導、人権とジェンダー (オムニバス担当)、専門演習I・II、卒業研究  
公務員・受験対策, 2024, 模擬面接の学内のコーディネーターと実施

国家試験対策講座, 2024, 公的扶助論、社会福祉の原理と政策、を担当

2) 大学院

大学院授業, 2024, 低所得者福祉特論

3) 実践教育センター

実践教育センター講義, 2024, 社会福祉学（介護コース科目）6コマ（12時間）担当

10. 学内各種委員会活動

1) 全学教務委員会, 2023. 4～

2) 公立大学協会・社会福祉学系部会担当, 2017. 4～, 社会福祉学系部会の資料作成をとりまとめ・会議参加)

3) ソーシャルワーク教育連盟担当, 2018. 4～2025. 3

4) ソーシャルワーク教育連盟・関東甲信越ブロック担当, 2024. 4～2025. 3

5) ソーシャルワーク教育連盟担当 神奈川支部担当, 2024. 4～2025. 3, 2024年度は幹事校として、事務手続きも含め、支部全体の連絡調整と会議体、各学校・大学の連携を構築した。

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

1) 基盤研究 (C), 代表者, 吉中季子, 女性のライフステージにおける公的年金制度加入と貧困の研究, 2, 600千円, 2022年04月, 2026年03月

2) 基盤研究 (A), 分担者, 松本伊智朗 (研究代表者 北海道大学・教育学研究院・教授), 関あゆみ, 加藤弘通, 丸山里美, 大谷和大, 鳥山まどか, 田中智子, 上山浩次郎, 吉中季子, 大澤真平, 川田学, 新藤こずえ, 吉中季子, 子ども・子育て家族の貧困と政策・実践: 「包括的最低限保障」の構想のために, 41, 990千円, 2021年04月, 2026年03月

3) 基盤研究 (B), 分担者, 小関隆志 (研究代表 明治大学・経営学部・教授), 佐藤順子, 角崎洋平, 野田博也, 吉中季子, 日本に住む外国人に対する金融包摂の方策, 17, 030千円, 2021年04月, 2025年03月

4) 基盤研究 (B), 分担者, 鳥山まどか (北海道大学大学院・教育学研究院・准教授)、松本伊智朗, 丸山里美, 田中智子, 吉中季子, 世帯内に隠れた貧困の実証的把握: 貧困研究の方法の再検討, 11, 440千円, 2020年04月, 2025年03月

15. その他

1) 関東学院大学非常勤講師, 看護学科 (担当: 社会保障)

2) 佐久大学非常勤講師, 人間福祉学部 (担当: ジェンダー論)